

JAPAN MINIDAY GPR c7(Genuine Parts Racing category7)特別車両規則

2019\_02\_27

クランクシャフト・コンロッド	オリジナルのみ使用可。軽量・焼き入れなど加工可。 *Hコン・E N40は不可。	
ピストン及びボアサイズ	+40まで可。鍛造、マグネシウム鋳造は不可。	
排気量	プラス0.04インチまで *ピストンクリアランスを含む 1315 c cまで	
シリンダーヘッド	5ポートのみ可。インテークバルブ自由。エキゾーストバルブ29.2φまで使用可。ポート加工自由。*アルミヘッド使用不可。	
ロッカーアーム	オリジナルシンタードタイプのみ使用可。鍛造、ハイリフト、ローラーロッカーアーム使用不可。	
カムシャフト	自由。	
エアクリーナー	自由。	
マフラー	マニホールド・サイレンサー自由。排気口は燃料タンク後方である事。105dB以下。	
冷却系	自由。	
オイルクーラー	自由。	
点火系	キャブレター 59D、65Dなどのフルトラディスビのみ可。同時点火・E C U点火不可。C D I・M D I使用可。	
	インジェクション ノーマルコンピューターを使用する事。同時点火可。 *サブコンによるリミッター解除など可。	
トランスミッション	4速ギア比自由。シーケンシャル、5速は不可。ドロップギア自由。	

燃料系	キャブレター WEBER45DCC Eのみ使用可。	
	インジェクション ノーマルコンピューター、シングルポイントのみ可。ノーマルインジェクター使用インジェクターホルダー、スロットルボディ、インテークマニホールド自由 *サブコンによるリミッター解除など可	
デファレンシャル	クロスピン使用可。LSD使用不可。デフロック不可。ファイナルギア比3.9のみ (3.755~4.453)	
クラッチ	自由。	
フライホイール	自由。	
ショックアブソーバー	自由。	
ラバーコーン・サスペンション	サブフレーム使用。スプリング不可。	
ブレーキ	4ポッドキャリパー、ドライビングフランジは12インチ用での使用が望ましい。	
スタビライザー	自由。	
キャンバー及びカスター角	自由。	
ブッシュ類	自由。	
タイヤ	165-70-10 032のみ可	
ホイール	自由。	

ボディ	ドアパネルはスチール製を使用の事。主催者指定のゼッケン、スクリーンシールド使用の事。	
ボンネット・トランク	自由。ボンネット・トランクには各2ヶ所のファスナーを追加する事。	
オーバーフェンダーその他	主催者指定の物のみ使用可。	
バンパー	自由。	
ウインド材質	フロント以外自由。	
車室	エンジンルーム、ガソリンタンク、オイルタンク、ギアボックス、バッテリー、配管の継ぎ目から完全に隔離されていなければならない。	
エンジンルーム	フライホイールハウジング裏に主催者指定の保護プレートを取り付ける事。*取付図参照	
シート	4ヶ所で固定。リアフロアは2mm以上の鉄板でフロア強化する事。ボルトは8mm以上使用。	
内装	ドア内張り必要。	
シートベルト	ターンバックル式5点以上、ハンス義務。	
ロールケージ	スチール製引抜鋼管（外径38φ、肉厚2mm以上）6点以上義務。ドライバー側サイドバー義務。メインロールバーに4mm穴1ヶ所、黄ペイント（曲げ部、溶接部から100mm以上離す）	
ガソリンタンク	F I A、J A F 公認。J M S A、M i n i J a c k が認めた安全タンク使用。主催者指定のロールオーバーバルブ取り付け義務。（キノコ R C 6001 S）	
フューエルポンプ	自由。	
オイルキャッチタンク	2 L 以上義務。	

サーキットブレーカー	取り付け義務。	
消火器	1.5 k g 以上必要。	
バッテリー	移動可。室内はケースに入れる事。確実な固定とターミナル絶縁する事。	
ブレーキ、クラッチマスター	キャップのテーピングなどフルードが漏れないようにする事。	
牽引フック	前後必要。ベルトタイプ可。	
車両最低重量	ドライバー含め660 k g。タンク内ガソリンは5 ℓ 未満とする。 * ボディ原形、強度を極端に損なわない軽量方法を推奨。	
* バラスト	主催者指定の物を使用。助手席フロアにM12ボルト2本で固定する。バラストは2 k g 単位とする。	